

令和6年度 学校教育目標及び学校経営の方針

下野市立国分寺中学校

1 学校教育目標(目指す生徒像)

意欲をもち 自主的に学習する生徒	人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒	健康で はつらつとした生徒
<ul style="list-style-type: none">・問題意識をもち、筋道を立てて自ら探究し、解明したり、表現したりする。・互いに積極的に考えを出し合い、学び合いを通してさらに深めようとする。・目標をもち続け、自らの力で粘り強く取り組む。	<ul style="list-style-type: none">・思いやる温かい心で素直に人を受け入れ、仲間を大切ににする。・学校や郷土に誇りをもち、積極的に奉仕活動をする。・歴史、文化財、自然等に触れ、郷土の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none">・積極的に体を鍛え、健康で安全な生活を送る。・ルールを守り、マナーを大切にし、明るくきびきびとした節度ある行動をする。・手洗い、うがい等を心掛け、健康維持に努める。

2 目指す学校像

「明るく きびきびと活動する 温かい学校」

スローガン:「当たり前のことをこつこつと」

<明るい学校>	<きびきびと活動する学校>	<温かい学校>
<ul style="list-style-type: none">・生徒が居がいのある充実した学校生活を送り、本来の「明るさ」が保証された学校・生徒が「疲れたけれど楽しかった」「明日も楽しみだ」といった喜びのエネルギーをもち、「明日も学校に行こう」という気持ちになる学校・明るいあいさつや返事ができる学校	<ul style="list-style-type: none">・生徒・教職員に場に応じた判断力や善悪の判断力が身に付き、その活動が機敏で活気のある学校・生徒・教職員が全教育活動において、自主的に学び、主体的に問題を解決する学校・地域とともに安全・安心な生活を確保する学校	<ul style="list-style-type: none">・教職員と生徒、生徒同士、教職員同士、教職員と保護者・地域の人達がしっかりと話し合い、相談し合えるような人間関係ができた学校・一人一人が自他の大切さを実感できるような雰囲気や環境づくりに努める学校・いじめや暴言・暴力等を許さない学校

※そのために、教師は……

<ul style="list-style-type: none">・自ら明るく(笑顔、元気、誠実)、生徒の実態に応じた「学びのある授業」を日々実践する中で意欲化を図り、確かな学力の保障と共感的な人間関係づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none">・生徒達が「当たり前のこと」を当たり前に行うことができるようになるよう、小さなことから教えるべきことを具体的に教え、実践させ、認め、褒め、定着を図ることを、日々こつこつと実践していく。	<ul style="list-style-type: none">・温かい心で、生徒と共に考え、悩み、夢や感動を共有していく姿勢で指導に当たる。・高い人権意識をもち、何事にも率先垂範を心掛ける。・保護者、地域の人達と連携、協力して教育活動を実践する。
--	--	--

3 目指す教師像

「自ら学ぶ者こそ教師」(反省的实践者)

スローガン:「すべての活動は子供達のために」

1 生徒一人一人を理解し、信頼し、伸ばす教師

- (1) 生徒と触れ合う機会を多くし、受容的・共感的態度で生徒の話をきき、生徒理解に努める。(誠実で生徒に寄り添う温かさをもつ。)
- (2) 全教育活動を通して、生徒の良さを見付け、賞賛する言葉掛けや、「だめなことはだめ」という指導の姿勢を貫く。(公正・公平で揺るがない信念をもつ。)
- (3) 「師弟同行」の教育活動を展開し、生徒から信頼される教師になる。
(明るくあいさつ、清掃や読書への取組等、率先垂範で示す。また、話し合い、相談し合える人間関係づくりに努める。)

2 教材研究を大切に、確かな学力を保証する教師

- (1) 授業を第一に考え、生徒側に立った「学びのある授業」を構築する。
(個別最適な学び、協働的な学び、共有の課題とジャンプ課題の設定)
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習の充実を図る。

3 自己啓発に励み、専門職として責務を果たせる教師

- (1) 校内の教師同士の日常の「学び合い」を第一の研修と考え、資質の向上を図る。
(謙虚さを忘れず、互いの考えを尊重する。)
- (2) 教育公務員として、サービスの厳正を常に心掛ける。

4 組織の一員として、積極的に分業と協働のできる教師

- (1) 分担された仕事を誠実に行う。
- (2) 「報告・連絡・相談・確認・思いやり」を徹底し、共通理解・共通行動のもと、それぞれの役割での関わりを生かし指導に当たる。
(「どの生徒も全職員で」の意識と気概をもち、心の絆を深める人間関係づくりに努める。)
- (3) 危機管理への対応意識を高め、小さなことを見逃さず、指導の徹底を図る。
- (4) 生徒、保護者、地域の方、外来者に対し、丁寧な対応を心掛ける。

4 学校経営の方針

- (1) 学校教育目標の実現のため、努力点や具体策を明確にし、教職員一人一人の学校経営参画意識を高め、学びの連続性と学校・学年・学級の一貫した経営に当たる。
- (2) 本校の地域及び生徒の実態と学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程を工夫・編成し、特色ある教育活動を展開する。
- (3) 「学ぶ力」を育むため、学び合いのよさや学びの手応えを実感できる学習活動の充実と基礎的・基本的知識及び技能を活用した問題解決的な学習等の充実を図る。
- (4) 「豊かな心」を育むため、生徒と教職員の確かな信頼関係と生徒同士の豊かな人間関係を基盤とした道徳教育を推進する。道徳科の指導と評価の充実を図り、温かい学校・学年・学級経営に努める。
- (5) 「健やかな体」を育むため、心身の健康課題への適切な対応に組織的に取り組む。体力向上に向けた積極的な取組と安全・安心な生活の確保に努める。
- (6) 特別な支援を必要とする生徒のもつ特性について共通理解し、個別の教育支援計

- 画を作成し、全教職員で適切な指導や必要な支援に努める。
- (7) 全教職員が人権尊重の理念を理解し、人権感覚を磨き、人権に関わる資質・能力の向上に努め、全教育活動を通じて人権教育を推進する。
 - (8) 特別活動並びに総合的な学習の時間におけるキャリア教育の充実を図るとともに、小・中9年間を見通した系統的なキャリア教育・進路指導に努める。
 - (9) いじめや不登校、非行問題に全教職員が協力して、未然防止の強化を図るとともに早期発見・早期対応に努める。初期対応は、迅速かつ誠意ある対応をとるとともに、専門機関との緊密な連携・協力を努める。
 - (10) 小・中9年間の連続性や系統性を重視した小中一貫教育を更に推進する。
 - (11) 社会の変化に対応できる情報活用能力の育成のため、ICTの有効活用に努める。全教育活動を通して情報モラル教育の充実を努める。情報セキュリティ及び情報の管理について認識を高め、保護・管理を徹底する。
 - (12) 家庭・地域社会・関係機関等と協働し、特色のある体験活動を推進するとともに、学校運営協議会やPTA組織等との連携・協働により、地域とともにある学校づくりに努める。
 - (13) 全教職員が危機意識をもち、安全管理や危機管理に関する校内管理体制の強化に努める。

5 本年度の努力点

- (1) 教職員一人一人が参画する「本校ならではの」教育活動の推進
 - ア 「当たり前のことを当たり前」の指導の徹底
 - イ 学校行事等における縦割り活動の充実
 - ウ ミドルリーダー並びに若手教職員の育成
- ★(2) 「学び合い」を生かした主体的・対話的で深い学び(探究と協同)の充実
 - ア 『学びの共同体』の理念に基づく学び合いの検証と授業改善
 - イ 見方・考え方等、学習指導要領の趣旨を生かした授業等の実践
 - ウ 各教科等におけるICT(タブレット端末等)の効果的な活用に向けた工夫改善
- (3) 安全・安心な生活の確保
 - ア 正確かつ迅速な情報収集と対応
 - イ 非常事態発生に対する対応策の準備と未然防止のための対策
 - ウ 家庭や地域への積極的な啓発と連携
- (4) 特別支援教育の視点に立った生徒理解の深化
 - ア 特別支援教育の正しい理解と適切な生徒指導
 - イ 自己肯定感や自己有用感を味わえる学級経営の工夫
 - ウ 生徒に寄り添い、生徒同士をつなぐ温かい人間関係の育成
- (5) いじめ・不登校等の未然防止と適切な初期対応
 - ア 全校体制による「学業指導」の充実と「心の教育」
 - イ 学校と家庭が一体となった指導並びに関係諸機関との緊密な連携構築
- ★(6) 情報モラル等、規範意識や倫理観の育成、ICTの効果的な活用と個に応じた指導の工夫
 - ア 家庭、地域の協力のもと、全教育活動を通して、善悪の判断力の育成
 - イ 年間指導計画に基づいた情報モラルに関する指導の各教科等への位置付け
 - ウ 情報通信機器の有効かつ安全な利用について、保護者と連携した指導
 - エ 探究的な学習の充実のため、ICTの効果的な活用
- (7) 小中一貫教育と地域とともにある学校づくりの更なる活動の充実
 - ア 「小中一貫教育」と「学校運営協議会」を両輪とした実践
 - イ 「学校地域協働活動」の推進と地域の教育力を生かした組織的な取組